

「1 学校で休みじかんに大地震がおったら」

- 学習のねらい：1. 自分が通っている学校で、どのような危険が起こるかを知る。
2. 校内の場所に応じて、適切な危険回避の方法を知る。
3. 避難時に注意すべきことを知る。

(指導上のポイント)

- ◆児童が危険と考えた理由についても発表させる。
- ◆自分たちの教室で、どのような危険が発生するかを考えさせる。
- ◆教室で身を守る方法について指導する。
例) 机の下に隠れる。
窓ガラスから離れる。
- ◆津波による被害が予想される学校や第1次避難場所が危険な場合は、第2次避難場所への避難が必要になる場合があることを指導する。

《参考》

○学校で考えられる危険

【教室】時計・放送機器の落下、本棚・ロッカーの転倒、照明器具・天井部材の落下、窓ガラスの飛散

【廊下】掲示板の落下、防火扉の破損

【階段】階段からの転落、壁の剥落

【昇降口】下駄箱の転倒

【図書室】本棚の上段にある図書等の落下、本棚の転倒

【理科室】薬品棚の転倒、実験中の器具の破損・薬品の飛散・引火

【音楽室】ピアノの横滑り、楽器の転倒

【家庭科室】食器棚の転倒、包丁・食器などの落下と破損、ガス漏れ

【体育館】体育器具の落下・転倒

【校庭】窓ガラスの破損と破片の落下、外壁材の剥落、運動用具・遊具の損壊、銅像の倒壊

1 学校で 休みじかんに 大地震が おったら

(1) きょうしつの中 できけんなこと

きょうしつで 地震が おこつたら、どんな きげんな ことが おこるでしょう？
下の えとしゃしんをみて かんがえて みましよう。



掲示板の落下、照明器具の落下、窓ガラス破片の散乱、壁の剥落、ロッカーの転倒、ロッカーの上の荷物の落下 等

【地震でこわれたもの】



② きょうしつの中 での、どんな きげんな ことが おこるでしょう？

「おちてこない・たおれてこない・いどうしてこはい」 ばしよに。

(次年度以降の展開例)

- ・ 学校探検と組み合わせて、地震が起こった時に各所でどのような危険が発生するかを考えさせる。
- ・ 避難訓練と組み合わせ、場所ごとの適切な危険回避を指導する。
などが考えられる。

(2) きょうしつあおしんのそとで大地震おほしんがおこったら

休みじかんに大地震おほしんがおこったら、どうしたらよいでしょうか？
下のえをみてかんがえたことをかいてみましょう。

<p>こうしゃのそば</p>  <p>・校舎から離れる。</p>	<p>ろうか、かいだん</p>  <p>・本などで頭を守る。 ・手すりにつかまる。</p>
<p>げたばこ<small>(くつばこ)</small>のそば</p>  <p>・下駄箱から離れる。 ・あわてて外に出ない。</p>	<p>たいいくかん</p>  <p>・中央に集まり、身を守る。</p>

ゆれがおさまって、ひなんするときは…

- 校内放送こういんほうそうがあったら、しずかにきこう。
- ろうかやかいだんでは、おさない。はしらない。しゃべらない。
- ひなんするときは、われたガラスに気をつけよう。
- 津波つなみがきそうきそうなときは、いそいで高いところへひなんしよう。
- あんぜんなところにひなんしたら、もどらない。



関連学習：ワークシート①

「じぶんのみのまもりかたをしろう」

《参考》

○場所ごとの危険回避方法

【教室】机の下に隠れて、両手で机の脚をしっかりと持つ。

【廊下】頭をカバンや本、手で守る。照明器具、窓ガラス、ドアからなるべく離れる。

【階段】手すりにつかまり、揺れがおさまったら安全を確認しながら降りる。

【昇降口】下駄箱から離れる。あわてて外に出ない。

【図書室】本棚から離れ、テーブルの下にもぐる。テーブルまでたどり着けない場合は、持っている本・雑誌などで頭を守る。

【理科室】薬品棚から離れる。

【音楽室】ピアノ、楽器棚などから離れる。

【家庭科室】包丁や皿などが落ちてくることを考え、頭を守る。

【体育館】中央に集まり、身を守る。

【校庭】サッカーゴールなどの体育器具や校舎から遠ざかり、中央に集まる。

(指導上のポイント)

- ◆地震発生時の初期対応として、「落ちてこない・倒れてこない・移動してこない」場所を見つけ出して、身を寄せることを指導する。
- ◆地震発生時に教職員がいる場合は、教職員の指示に従うことを指導する。
- ◆左記以外の各自がよく行く場所での危険回避方法についても考えさせる。

(指導上のポイント)

- ◆「お・は・し・も」を指導する。【おさない】、【はしらない】、【しゃべらない】、【もどらない】
- ◆「はしらない」は、廊下、階段でのけがを防ぐためのものであり(校舎内)、外へ避難したら走る場合もある。
- ◆定められている避難場所、避難ルートを指導する。
- ◆「津波が来そうなら、急いで高い所へ避難しよう」とあるが、各市町に津波避難場所を確認するなど、地域の実情に合わせて指導する。
- ◆学校内にあるたくさんの安全施設・設備があることを指導する。
例) 非常階段、防災倉庫、防火扉、誘導灯、消火栓、消火器、プール

(確認)

学校での危険に対して、適切な回避行動を取れば、けがを防ぎ、避難できることを理解できたか。